

一 般 質 問

周防大島幹部交番の建て替えと機能強化について

吉田 芳 春 議員



問 平成21年4月に警察署の再編整備において大島警察署は、柳井警察署に統合され、周防大島幹部交番となったが、42年間の永きにわたり地元住民にとって警察は安全と安心のよりどころであり、歴史ある周防大島幹部交番は県内で一番古く、庁舎の老朽化が進み、耐震構造が基準を満たしていない。

地元住民の利便性や警察活動の効率性を十分に考慮して建設場所を選定し、早期に建て替えて警察機能の強化と治安維持に努め、安

心安全な明るい社会の実現を図るべきだと思う。町長のご所見を伺う。

答 周防大島幹部交番の早期建て替えと、これを機に本町全体を視野に入れた災害拠点として、また「安心・安全ステーション」としての更なる機能強化を図られるように、県知事及び県警本部長に要望している。

今後、町として周防大島幹部交番の建設場所の選定等、事業の推進に当たり出来る限り協力する。

なお、建設候補地として山口県警から防災と防犯機能の一体化を図るため、大島防災センターの隣接地での建設の考え方や、治安の抑止力向上を図るために、国道437号線沿いという声もある。

なお、建設候補地として山口県警から防災と防犯機能の一体化を図るため、大島防災センターの隣接地での建設の考え方や、治安の抑止力向上を図るために、国道437号線沿いという声もある。



周防大島町消防団と自治会等のAEDに関して

平野 和 生 議員



問 消防団の条例定数は何名か。また、団員数と団員の年報酬は低いとは考えてないか。

答 条例定数は972名で、2月1日現在の団員数は901名である。年報酬に関しては柳井地区消防組

合を構成する市町と比較しても平均的な額であり、極端に低いとは考えていない。

問 消防団の再入団は可能なのか。

答 消防団員の定年は条例で定めていないので、本人の申し出により退職を承認する事になる。また退職後の再入団については条例に定める団員の資格を有する方であれば何度で

も再入団は可能である。

問 中学校合併等により自治会などに払い下げられたAEDの電池交換、電極パッドの交換にかかる経費は町が負担できないか。

答 公共的施設に町が設置したAEDについては、電池パッド等の消耗品の買い替えや、本体の買い替えは町で負担するが、自治会が独自で購入し、設置したものについては、今のところ町で負担する予定はない。



参考

A E D	使用期限	価 格(円)
本 体	5 ~ 7年	300,000円 ~
バッテリー	3 ~ 4年	16,000円 ~
電極パッド	2年	8,000円 ~